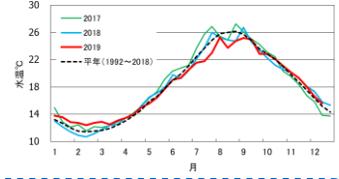




鳥取沿岸の水温

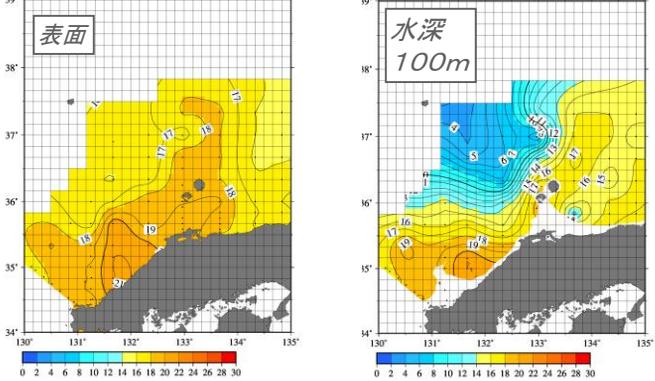
鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽
(電話:0858-34-3321)

12月中旬 15.6℃
平年より 0.4℃高め



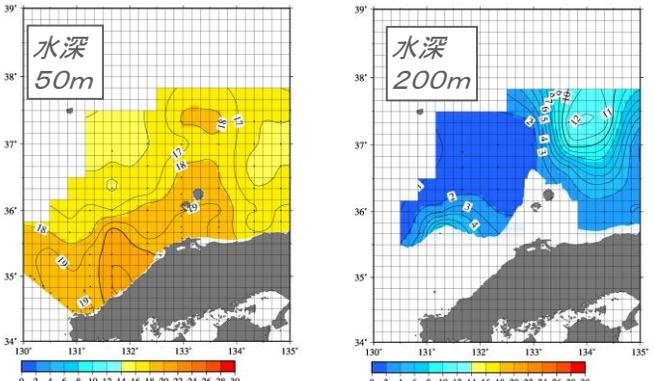
発行 鳥取県水産試験場 (電話:0859-45-4500)

試験船による海洋観測結果 (12月上旬)



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域の水温は17～19℃で、平年並みの値となっています。

水温は12～16℃を示し、鳥根県沖北緯35°50'に冷水域(14℃以下)があります。



水温は17～19℃を示し、平年並みの値となっています。

隠岐諸島北緯35°50'付近に暖水域(8～10℃)があります。



鳥根県冷水	鳥根県沖 北緯35°50'以北に認められます(14℃以下)。
山陰・若狭沖冷水	若狭湾沖 北緯36°40'以北に認められます(14℃以下)。
その他の水塊	小さな冷水塊が鳥取県沖 北緯35°50'付近に認められます(12～14℃)。
対馬暖流の流路	主流は朝鮮半島東岸に沿って北上し、一部が北東に向い鳥根県沖水に沿って隠岐諸島西側から北方に流れています。また、隠岐諸島北側から北方に向かう流れと、山陰・若狭沖冷水に沿う流れが認められます。

*県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ(鳥取県水産試験場で検索してください)に詳しく掲載しています、是非ご利用ください。

★境港水産事務所からのお知らせ★

第17回カニ感謝祭が開催されます!

日時: 2020年1月19日 10:00～
場所: 水木しげる記念館・妖怪神社など

パレード参加先着300名の方に
カニのプレゼントがあります!



妖怪たちも登場!



山盛りのカニと共に!!

皆で水木しげるロードを
練り歩こう!!

水産試験場

令和元年度第1回境港地区漁海況連絡会議

境港地区の水産関係者を対象に、水温等の海洋環境やアジ・サバ・イワシ等の浮魚、ハタハタ等の底魚類における漁獲量や今後の見通しに関する連絡会議を令和元年12月10日(火)にみさき会館会議室にて行いました。試験場研究員が報告したR元年12～R2年3月までの見通しは次のとおりです。

海況: 1月上旬の鳥取県沿岸域の水温は前年並みに推移し、山陰・若狭沖冷水は、前年と比べ離岸傾向を示す。

スルメイカ	1月、2月は前年、平年を上回る。 (海況特微から12月は不漁傾向、1～2月は豊漁傾向と予測)
マアジ (まき網対象)	前年並みで、平年をやや下回る。 (2018、2019年級群(0、1歳魚)の資源量が少ない)
マイワシ	前年並みで、平年を下回る。 (近年、加入状況は良いが、漁場形成されにくい海況)
マサバ	前年を下回り、平年をやや下回る。 (資源状態は上向きだが、漁場形成されにくい海況)
ズワイガニ	松葉がにの資源量は比較的に高水準だが、親がにと若松葉がにの資源量は減少。
ソウハチ (エテガレイ)	前年を上回る。(隠岐北西、鳥根県以西で好漁)
マダラ	前年を上回る。(出雲沖以西で好漁)
ホッコクアカエビ (あかえび)	前年を上回る。(出雲沖で好漁)
ハタハタ	前年を下回る。(資源量の減少が影響)
アカガレイ	前年を下回る。(大型魚(体長30～35cmサイズ)が減少傾向)

今回の特別講演は、(国研)水産研究・教育機構 西海区水産研究所の北島 聡氏を講師にお招きし、浮魚の仔稚期における餌料環境の重要性等についてご講演いただきました。
マイワシでは、主産卵場が西側に形成されると資源量が増加するといったお話や、マアジでは、仔魚期後半の餌料生物の種類及び分布が生残を大きく左右するとの分析結果を示され、来場者の多くが詳細な研究に基づく報告に熱心に耳を傾けていました。



北島 聡氏の講演

栽培漁業センター

漁港内養殖(マアジ・ウマツラハギ)の経過報告です

平成29年度から御来屋漁港、長和瀬漁港内でマアジ、ウマツラハギの養殖試験を行ってきました。

- 【マアジ】
主に春から夏、秋から冬の短期養殖を実施。イクス導入時の魚体のスリ等が原因で死亡する個体もあるが、2～3ヶ月の飼育期間で高い生残率を維持(生残率8割程度)。体重も150g→250gまで増加。(2018年4月中旬～7月上旬の結果)
- 【ウマツラハギ】
種苗の安定的な確保が困難で、かご網では水圧差によりイクス導入後に死んでしまう個体が多い(生残率3割程度)など、歩留まりに課題が残る結果となった。順調に成育する個体は秋から冬にかけて餌食いも良く、肝は大きくなる。
飼育した養殖魚は計画的な出荷が可能で、地元飲食店等からのニーズも高く、安定的に高値での販売が可能なが分かりました。今後も両漁港で漁業者による漁港内養殖の取組が継続される予定です。



＜出荷の様子＞



＜海陽亭で販売中の長和瀬養殖アジ＞



＜肝が大きくなったウマツラハギ＞

平成31年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

潮に夢を **共和水産株式会社**
代表取締役 岩田 祐二
〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530